

# お店の知名度を上げたい人が知っておきたい 看板とソーシャルメディアの話

TwitterやFacebook等のソーシャルメディアが普及する時代。そんな時代に今更、看板なんてと思うかもしれませんが、ソーシャルメディア全盛の時代だからこそ、アナログな看板は販促に効果的なのです。では、どのような看板を作ればいいのでしょうか。看板は、プロが作る大きなものから、自分で作れる張り紙まで、さまざまな種類があります。本セミナーでは、ソーシャルメディアを最大限に活用し、より低コストで「いいね！」と思わずシェアしたくなるような店頭の看板販促を紹介します。是非、この機会に奮ってご参加ください！



日 時：平成27年8月28日(金) 14時00分～16時00分

会 場：中野区立商工会館 3階 大会議室 中野区新井1-9-1

JR・東京外口 中野駅北口 徒歩8分(サンモール・プロドゥエイを抜け斜め向)

講 師：高橋 芳文 氏 (興和サイン株式会社 代表取締役)

参加費：無 料

## 内 容

- ①「お店の前を通る人がお客さんになってくれたらいいなあ」と思ったら看板を活用すべし。
- ②誰かに教えてたくなる！お店に入りたくなる！思わず振り向きたくなる！写メしたくなる看板のツボとは？
- ③ソーシャルメディアとリアル販促の合わせ技でお金をかけずに話題を作ろう。
- ④お店に撮影スポットを作ろう。看板がお店、ひいては地域の観光資源になる！

## ■講師略歴：

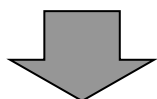
1968年東京生まれ。興和サイン株式会社代表取締役社長。屋外広告士。個店の看板を数多く手掛けるサインコミュニケーションのエキスパート。代表的な仕事は、新宿歌舞伎町のアイラブ歌舞伎町のランドマークサイン。同作品は、東京屋外広告コンクールにて(公社)東京屋外広告協会会長賞を受賞。「エイプリルフールに人がクスツとするジョークの張り紙プロジェクト」を発案するなどエンタメ看板の仕掛人として異彩を放っている。現在、法政大学大学院政策創造研究科の博士後期課程に在籍。「広告景観の美醜論」を研究。広告景観の専門家として屋外広告物ガイドラインの策定等にも携わる。商業界看板大賞審査委員。著書は、『儲かるお店の「すごい！」見せ方』(PHPビジネス新書)など。

定 員：50名 担当事務局：東京商工会議所 中野支部 (TEL. 3389-1241)

## 参加 申込書

- ・ 定員に達し次第締め切りとなります。(参加できない方のみご連絡申し上げます。)
- ・ ご記入いただいた情報は、当該講演・見学会に関する連絡・記録のために使用します。また、東京商工会議所からの各種情報提供のために使用する場合があります。
- ・ 受講券は発行しませんので、当日直接会場にお越しください。

会社名	TEL
	FAX
所在地	〒
参加者	部署・お役職： 氏名：
	部署・お役職： 氏名：
東京商工会議所	会員(会員番号 ) ・ 非会員
従業員数	1. 5名以下 2. 6～10名以下 3. 11～50名以下 4. 51～100名 5. 101名以上
産業分類 (主なもの一つだけに○印)	1. 建設業 2. 製造業 3. 情報通信業 4. 運輸・倉庫業 5. 卸売業 6. 小売業 7. 金融・保険業 8. 不動産業 9. 飲食店・宿泊業 10. 医療、福祉 11. 教育、学習支援事業 12. サービス業 13. その他( )



切り取らずに、FAX：03-3319-0381 までご返信ください。